

令和4年度第1回土別市教育委員会会議録

1. 日時 令和4年4月15日（金）午後1時27分～午後3時04分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委員 加 藤 洋 之 合宿の里・スポーツ推進課長
委員 山 田 敦 久 坂 本 英 樹
委員 多 田 千 鶴 社会教育課長 武 山 鉄 也

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

令和4年度初めての会議である。新年度になって2週間が経過し、新学期が始まって1週間経った。この間、教職員辞令交付式や各学校の入学式に参加いただき感謝する。今年度もよろしく願います。

上士別中学校と朝日中学校の入学式には、私と山田委員が、それぞれ出席し、東高校の入学式には、市長と私が出席した。東高の入学式には新入学生全員が出席したが、他の生徒と一緒に入場することができず、会場の後ろで見学した生徒もいた。その生徒は、記念撮影には一緒に参加したので、全てを拒絶する訳ではないと思うところであり、徐々に学校に慣れてもらいたいと思っている。また、入学式後に家庭の事情によって休んでいる生徒もあり、昨年、一昨年の入学生と比べると、少し不安な面がある。

今週は、13日に定例校長会議、14日に定例教頭会議を開催したところだが、いずれの学校も落ち着いたスタートを切っており、各校長から子どもたちは概ね元気に登校していると報告があった。中には、昨年度登校できなかった子どもが、別室ではあるが登校しているとの報告もあった。

昨年は、新型コロナウイルスの影響により土別小学校の入学式を2週間遅れで開催せざるを得ない状況だった。先週の本市における感染者数は3人であるが、今週に入り感染の報告がパラパラと聞こえている。管内でも感染が収まっておらず、本日、上川教育局が開催した「管内校長会議」も対面からオンラインに変更された。オミクロン株が変異した「BA. 2」株が増えているとの情報もあり、引き続き注意が必要である。4月17日をもって「年度末、年度始めにおける再拡大防止対策」期間が終了するが、期間中は制限付きで部活動を行っているため、来週になれば制限なく活動できるとの思いがあるようだ。あまり制限しすぎてもとを感じる一方で、距離の確保やマスクの着用などには注意が必要である。もし感染者が出てしまうと、2週間程度部活動が中止になる恐れがあるため、日々の練習時間を短縮したとしても、継続して活動できるように心掛け、徐々に活動を増やしていくことが望ましいと考えている。また、教育委員会の主催事業についても、状況に応じた感染症対策を講じながら、実施していく考えである。

4月28日にはオンラインも併用して「教育推進会議」を開催する予定であるが、この4月に辞令交付を受けた校長・教頭については、顔と名前を一致させることも含めて、できる限り参集を図り、対面で会議を行うよう工夫したい。

今日で春の交通安全運動が終了する。気温が暖かくなると、車のスピードも上がりがちになってしま

うこともあるほか、子どもたちも自転車で活動するようになるなど、交通安全面での注意が必要である。
子どもたちが毎日楽しく過ごすためには、新しい体制の中でも先生たちが心身ともに元気でなければならない。

4月12日に管内教育長会議が開催され、終了後には管内教委連教育長部会総会も開催された。今月着任した岸本亮上川教育局長や、上富良野町教育長に就任した鈴木真弓さんの紹介などがあつたほか、上川町の中野教育長が今月25日をもって退任されるとのことで挨拶があつた。管内教委連総会は書面会議となり、あわせて実施していた「第1回委員研修会」については中止となるところであるが、ご了解いただきたい。

本日もよろしく願ひする。

※ 教育委員会に転入した管理職、北海道からの派遣職員、新たに任用された青少年相談員から挨拶

2 議事について

○中峰教育長 進行

議案第1号 「士別市教育委員会所管事務各種審議会委員の選任（委嘱）」について説明を求める。

○武山課長

学校長などの異動や何らかの理由で欠員となつていた各種審議会委員について補充するものである。

○中峰教育長

この件について承認いただけるか。

（全員了承）

○中峰教育長

議案第2号 「士別市朝日公民館長及び温根別公民館長の選任（任命）」について説明を求める。

○武山課長

朝日公民館長については3月末で任期満了となるが、継続して任命するものである。温根別公民館長については、4月末をもって現館長が退任し、5月から新たな館長を任命するものである。

○中峰教育長

温根別公民館長については、運営審議会・合同会議の中で退任の意向が示されており、地域として確認していたところ。現館長については、別の公職もあり、本来は3月末をもって退任を希望されていたが、手続きの都合により4月末の退任となつたもの。

この件についてはよろしいか。

（全員了承）

○中峰教育長

議案第3号 「士別市学校運営協議会委員の選任（委嘱）」について説明を求める。

○武山課長

学校運営協議会委員の任期は1年であるため、毎年選任している。基本的には学校長からの推薦を受け、会議に諮っているところである。

○中峰教育長

士小、南中、東高を除く6協議会について、選任してよろしいか。

（全員了承）

○中峰教育長

議案第4号 「令和4年度地域コーディネーターの選任（委嘱）」について説明を求める。

○武山課長

士別市学校運営協議会規則第7条で、学校と地域を繋ぐ役割である地域コーディネーターを委嘱できると定めており、学校運営協議会から推薦があった3人に委嘱するものである。なお、それ以外の学校運営協議会では、市職員である委員が地域コーディネーターの役割を担うこととなる。また、土曜子ども文化村事業は地域の方に協力いただいております、コーディネーターの役割を社会教育課や中央公民館、博物館の職員が担っている。

○中峰教育長

地域コーディネーターを委嘱する3人は、PTA役員を経験されており、うち1人は現役のPTA会長である。それぞれ学校への思いをもって、協議会通信の作成や、事務局校の連絡会議で事例発表などを行っている。

この件についてもよろしいか。

(全員了承)

3 その他

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○三上部長

5月25日に開催する「チャレンジデー2020」について、対戦相手が長野県の東御市に決定した。

○中峰教育長

昨日、実行委員会を開催したところ。内容について説明願う。

○坂本課長

主催者である笹川財団からは、通常のメニューで実施するとの通知があった。実行委員会としてのプログラムは組んでいないが、社会福祉協議会から「ボッチャ」の普及のため体験会を行いたいとの話が出されている。対戦型の体験会であり、ぜひ委員のみなさんにもご参加いただければと思う。

○三上部長

本年は、ウエイトリフティング全日本社会人大会・レディース大会が、11月2日から6日にかけて総合体育館で開催される。選手400人、コーチ・監督など100人程度を想定している。また、来年は、8月10日から14日の日程で、36年ぶりとなるインターハイを開催する。こちらも各都道府県から500人余りが本市を訪れる予定であり、宿泊のキャパシティはギリギリだと思うが、関係機関と連携し、温かいおもてなしで歓迎したいと考えている。

○中峰教育長

休日の部活動については、次年度から地域への移行が原則となるため、その方法などについて検討するほか、朝日中学校の義務教育学校への移行検討にあわせ、上士別中学校のあり方についても地域と協議する予定である。また、本年から新たに実施する各種検定料の助成については、「英検」、「数検」、「漢検」を受験する児童・生徒に対し、一年に1回、最大1,000円を助成するが、3つの検定ごとにそれぞれ1回ではなく、3つの検定のうち1つに対して助成する。助成の方法については、教員に現金を扱わせないことが原則であるほか、場合によっては塾で検定に申込み場合もあるなど、様々なケースが想定されるため、

各学校の状況を確認したうえで検討していく考えである。いずれはサフォークポイントとして付与することについても検討したい。

○加藤委員

翔雲高校でも検定料等の助成が始まったと聞いている。

○中峰教育長

市の高等学校の魅力化事業として、学力向上助成を開始した。内容は簿記などの検定試験のほか模擬試験や学習教材の使用料を対象としている。検定料の助成は、全国各地の自治体でも実施されており、半額助成や全額助成している場合もある。本市では入口としてスタートしたところであり、活用状況等を把握したうえで将来的に助成内容の見直しなどを検討したいと考えている。

○多田委員

検定料の助成について、もう少し詳しく周知してはどうか。

○中峰教育長

助成の仕組みなどが決定次第周知を図る。すでに検定を受けた場合も、遡って対象とする考えである。また、本市と同様に助成回数を1回のみとしている自治体のほか、合格した場合に限り助成するという例もある。

○加藤委員

合格を目指して気合が入るかもしれない。

○中峰教育長

就学援助の対象世帯に対して検定料全額を助成している自治体もある。また、学校を会場として検定を行うには、一定の人数が必要となるため、複数の学校が合同で検定を実施している場合がある。決済の方法も多様化している。

○坂本課長

スキー場ではキャッシュレス決済に対応している。

○中峰教育長

JAの金融でも口座引落としの手数料がかかるようになる。今年度から給食費の引落としの3回目についても手数料がかかるようになり、年間165円の手数料がかかるとのこと。

○三上部長

再引落としの場合はさらに余計にかかる。

○中峰教育長

給食センターでは、給食費を徴収するため会計年度職員を2人雇用している。道教委からは給食費を公会計とするよう求められているところである。

給食センターで揚げ物を調理する際に発生する廃油について、以前は環境センターの車両が巡回し回収していたが、廃車することになり回収できなくなった。しかし、給食センターと取引のある旭川の業者が回収し、さらに買取り扱いとなることになった。

せっかくの機会なので、委員の皆さんから、それぞれ出席いただいた入学式の感想について発言いただきたい。

○加藤委員

多寄小学校の入学式は、在校生も出席しており、とても良い式だった。保護者として中学校の入学式にも出席したが、待ち時間が長いと感じた。もう少し対策を検討すべきではないか。

○山田委員

式の中で子どもたちが間隔を空けて合唱していた。きちんと伴奏がついて、いいムードの式だった。やはり合唱はあるべきものと感じた。

○加藤委員

子どもたちへの思い入れが素晴らしい。

○中峰教育長

登壇して祝辞を述べる機会がないなか、メッセージを出したが、次回から委員の皆さんの言葉や思いを追加することも検討したい。

○多田委員

新入学児童の氏名を一人ひとり読み上げるところにグッときた。

○馬場職務代理者

温根別小の入学式は、新入学児童3人が元気よく返事しており、一人ずつが主役であると感じた。小規模校ならではの良さがあった。

○中峰教育長

校歌斉唱は行っていたか。

○山田委員

朝日では両校とも歌っていた。

○中峰教育長

卒業式では、伴奏のみの音源を流しているところが多かったが、せめて歌詞入り音源を流してもらいたいと各校に要請した。

○馬場職務代理者

温根別では児童が歌っている音源だった。

○中峰教育長

東高ではしっかりとした歌唱の入った音源が使われていた。校歌の歌詞は「リピートする部分」を省略して記載しているところであり、伴奏だけ流しても理解できない状況にある。別の学校では、音源の状態が悪く、ノイズが気になった例もあった。

○加藤委員

士別小の音源も古いものだったと思う。

○中峰教育長

すでに廃校になった学校も含め、博物館では、各校校歌を収録している。かつて、ある学校では、いくら調べても校歌が見つからなかったが、結果として、校歌がなかったことが判明した。

午後4時20分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者

中 峰 寿 彰

会議録調整者

須 藤 友 章